

そよかせ



令和5年8月25日発行

第186号

Web版

発行 (福) 横浜市福祉サービス協会
戸塚介護事務所
住所 横浜市戸塚区上倉田町498-11
第五吉本ビル4階
電話 865-9222 (FAX865-9223)
発行人 所長 富田 なぎさ



戸塚グループ事業所だより

こんにちは！セミの鳴き声が聞こえる、夏本番がやってきました。暑さもピークに達していますが、暑さを忘れて私たちの広報誌とともに楽しいひとときをお過ごしください。心温まる情報や私たちの取り組みをお伝えします。それでは8月号をお楽しみください！

第21回 かながわ高齢者福祉研究大会

かながわ高齢者福祉研究大会は、研究・実践活動や介護技術の発表の場として、ともに学び合い、研鑽することを目的とした大会です。令和5年度は、戸塚グループ（戸塚介護事務所、ヘルパーステーション栄、ヘルパーステーション泉）より、ヘルパーステーション泉の中にある、「訪問介護看護いずみ」と「ヘルパーステーション栄」の若手職員が参加し力を発揮しました。

訪問介護看護いずみ（介護技術発表）

発表テーマ「お客様の残存機能を活かした移動介助」

発表者 A・M（訪問介護員 2年目）

説明者 Y・S（訪問介護員 3年目）

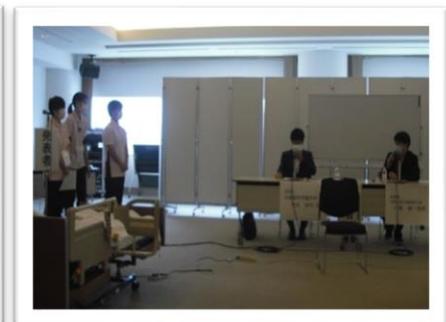
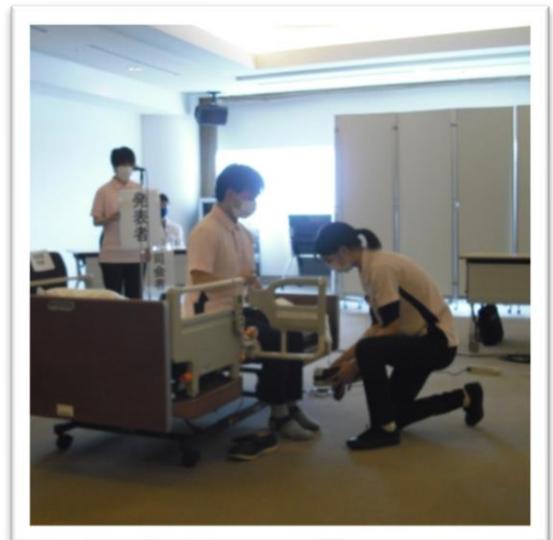
モデル N・K（訪問介護員 1年目）



発表概要

パーキンソン病のお客様にベッドから食席への移動介助を提供するにあたり、自立支援を目指す介助を行いました。お客様は、日により症状に変化があるため、「できること」と「できないこと」を見極め、その日の症状に合わせた介助を提供し、自立できる力の維持や向上を目指しました。

また、介助を提供する上では、声かけを丁寧に行いできるだけ不安を取り除くようにも努めました。



発表者 A・M 職員のコメント

かながわ高齢者福祉研究大会に参加するにあたり3人で、「この介助で合っているのかな?」「この説明で伝わるかな?」と疑問に思うことをたくさん話し合いました。先輩たちには発表の練習を見てアドバイスをもらいました。発表当日は、緊張しましたが練習の成果を出すことができ良かったです。他の施設の介助を実際に見ることもできたので、とても刺激になり1日を通じていい経験ができました。ありがとうございました。

ヘルパーステーション栄（研究発表）

発表テーマ

多職種連携「多職種で理解し合い利用者の利益につなげる」

発表者 S・M（サービス提供責任者 7年目）

S・N（サービス提供責任者 6年目）



発表概要

多職種で顔を合わせることがほとんどない在宅の現場において、連携をスムーズに行うために互いの職種を知り理解しあうことが不可欠だと感じる。いち早く利用者の変化に気づき的確に対応していくためには、各職種がどう動いていけば良いかを考える。



発表者 S・M 職員のコメント

入社から7年経ちましたが、初めて研究発表の場に参加させていただきました。「多職種連携」をテーマに研究発表をさせていただきましたが、「どうすればうまく連携を行うことができるのか」を研究する過程で、日々の業務の中だけでは考えることができなかったであろうことをたくさん考え、気づき、学ぶことができました。今後、この発表を通して学んだたくさんことや連携力を糧に、お客さまに対してこれまで以上に質の高い、満足していただけるケアを行っていききたいと思います。

S・N 職員 S・M 職員

発表者 S・N 職員のコメント

入社してから初めて大きな大会に参加させていただきました。いつもの業務では感じることのできない緊張感があり、とても貴重な経験をすることができました。研究発表以外の部門の発表も見ることができ技術面での学びもありました。来年もまた是非参加したいと思います！

熱中症



先日、屋外で倒れている方を同日に2人救護しました。当日は最高気温36℃を超える猛暑日、正午に近い時間で体感気温は40℃を超えていたと思われます。道端でうずくまり痙攣も起き呂律も回らない状態で早急に救急搬送しました。多量の発汗にて水分と塩分不足となり脱水症状が認められました。2人とも、痙攣が起きていることから血液中の塩分濃度が低下したことが予測されます。

熱中症予防として屋内ではもちろんですが外出時は、塩分（ナトリウム）と糖質を両方含んだ水分補給が必要になります。日本スポーツ協会でも食塩と糖質を含んだ飲料を推奨しています。特に1時間以上外出をする際は糖質（ブドウ糖）をより含んだものの摂取をお勧めします。冷えたイオン飲料や経口補水液の利用が手軽ですが、家庭で手作りする際は1リットルの水、ティースプーン半分の食塩（2g）と角砂糖を好みに応じて数個溶かしてつくることもできます。塩分だけではなく糖を含んだ飲料が推奨される理由としては、糖質を同時に摂取したほうが水分の摂取スピードがより効率的になるためだとされています。依然として厳しい暑さが続きますので注意して生活していただければと思います。

訪問看護ステーションさかえ サテライト戸塚 理学療法士 T・I